わくわく園庭日記

蒲幼稚園　　№8　R６,２,２

明後日は『立春』。暦の上では、もう春です。あちらこちらで梅の花が咲き始め、春の訪れを告げています。園庭の木々や花壇の様子もご覧くださいな。ちゃんと新しい芽が出てきていますよ。子どもたちと一緒に植えたチューリップも鬼の角のようなかわいい芽をのぞかせています。鮮やかに彩られる春が待ち遠しいですね。

先週は、とても寒い日が続きました。「寒い～」と身を縮こまらせて登園してきた子どもたちでしたが、いつもとは違う園庭の様子に心を躍らせ、また時折舞い散る風花に「雪だるま作ろう！」「雪合戦もやってみたい！」と目を輝かせていました。寒いけれど部屋に閉じこもってなんていられない！大人もぐっとお腹に力を入れて、子どもたちと一緒に園庭に飛び出しました。

寒い中で見つけたたくさんの楽しみ！

お宮の森から顔を出した太陽
園庭に差し込む陽の光が暖かい

朝一番に園庭に出てきた子どもたちが見つけたものは…。

地面にできた霜柱！

アスファルトだらけの身近では、なかなか見つけられなくなった霜柱。大人でも「本物を見たことがない」という人がいるのではないでしょうか…？地中の水分が凍ってできた細い氷の柱によって地面の土が持ち上がる不思議な現象にみんなで釘付けになりました。これも頑張って土を耕し、土壌改良に取り組んでいる成果であると嬉しく思いました。

口から出る湯気！

友だちが話しているとロから出てくる白い湯気に気が付きました。「ロから煙が出てる！」「え、ぼくは？」なんでだろう？不思議だね。

こんな素朴なやり取りの中にも科学は潜んでいるのです。

足で踏みつけザックザックという感触を味わい、氷の柱が割れてしまわないようにそっと指先でつまみあげる
やってみて気づく大事な学び

3学期も元気です！
登園直後から園庭に出て遊ぶ子どもたち。

「はっけよ～い、
　　のこった！」
地面が砂地だから転んでも痛くない。思い切り友だちや保育者と取っ組み合って、勝負を競います。地面に足を踏ん張って、押し出されないようにほら、頑張れ！

警泥、氷鬼、バナナ鬼…。クラスや学年が自然と混ざり合った状態で遊ぶ姿が当たり前になりました。寒い時は走るのが一番！しばらくすると「ふう～暑～い」体が温まり、上着を脱ぐ子も出てきます。

水たまりにできた氷！

水たまりに氷が張っていました。「ん、凍ってる？」初めは恐る恐る近づき様子を見ているだけでしたが、そのうち手が伸びてきて氷に触れ、ついにジャンプして氷が割れる様子を楽しみ始めました。

ずっとは持っていられない！
でも手放すのは惜しくてカップに入れておいたけど、部屋に戻る頃にはあ～あ、なくなっちゃった～
残念な思いもやがて学びに…。

割れた氷を集めて「かき氷を作ろう！」思うように削れずかき氷にはならなかったものの、泥水に氷が浮かぶ様子がアイスカフェオレのようで喜んでいました。

陽があたり始めるとみるみるうちに氷は解けて元の水たまりに戻りました。でも、今日の水たまりはすご～く冷たいよ。落ちたら大変、自分も氷になっちゃう！水たまりにかけた一本橋を渡り、いつもとはちょっと違うスリルを味わっていました。

毎日遊ぶ園庭だから、その日その日の変化に気が付き、思う存分楽しめる。園庭での楽しみは、遊具で遊ぶだけじゃない！